



302

中学生向け

年組

記事は加工しています

2026年3月18日付・下野新聞21面

「おいしい」追求 日本一に

2月に開かれたイチゴのおいしさを競う品評会「第4回全国いちご選手権」(一般社団法人日本野菜ソムリエ協会主催)で、真岡市上天田和の井頭観光いちご園「宮田いちご園」の「とちあいか」が県内初の最高金賞に輝き、「いちご王国・栃木」に念願の称号をもたらした。同園の宮田悦男さん(80)に受賞の喜びやこだわり、やりがいなどを聞いた。

(聞き手・田口雅也、写真・杉浦崇仁)

イチゴ農家

みやた お悦男さん(80)

「本当に反響がすごくて。全国から電話がかかってくるし、新しいお客さんがわざわざ遠方から買いに来てくれる。県内トップのJAはが野管内から1位になり、少しは貢献できたかな」

井頭観光いちご園でイチゴ栽培を始めてから、今年で19年目を迎えた。

「栽培のこだわりは、

「できるだけ薬を減らし、ダニを食べるダニ『天敵』を相当入れている。薬剤散布の労力が減り、その分葉面散布できる。肥料は有機質しか使わない。弱い花は摘花するので、うちの実は大体2Lサイズ以上。その方が味が乗るといっつか、ばらつきが出にくいと思っています。甘いイチゴとおいしいイチゴは全然違うんですよ。やっぱり酸味と甘

みのバランスがいいものが、さんがたくさんいます。イチゴを買うために宿泊したり、マイクローバスで来てくれたり。大変は大変なんです、でも「『このイチゴじゃなくちゃ駄目なんだ』というお客うれい悲鳴ですね。本当に

お客さんに恵まれているといっつか、助けてもらってます。なので手が抜けません。『去年の方がおいしかった』と言われると大変ですから。だから日本一になれたのかもしれないですね」

「苦勞したことは、

「オープンしてから数年はお客さんが来なくて苦しかった。ようやく軌道に乗ってきたところで東日本大震災。ガソリン不足や放射能などの騒ぎで一気にお客さんが来なくなりました。赤く熟れたイチゴをもいでは捨てるの繰り返し。これが一番大変だった

「今後の展望は、今年で81歳。体力を落とさないように現状維持で頑張りたい。2連覇を狙って最高金賞を取れたら最高。次回はスカイベリーを出品して、審査員の意見を聞いてみたいと思う。栃木県は本当にイチゴ王国ですね。これから次々と最高金賞を取る人が出てくるのでは。どんな人挑戦してみてもほしいと思います」

農業分野でも高齢化や担い手不足が喫緊の課題として挙げられる。
①イチゴ農家の現状についてどう考えているか。
②新規②は相当投資しないと始められない。どうしても生活がかかると、③を上げなくてはいけない状態になり難くなる。これからは後継者のいない空きハウスが増えていくと思うので、定年退職して農業に意欲のある人が引き継げば、楽しいイチゴ作りができるんじゃないかな



①にかけて育てたイチゴを手に笑顔の宮田さん(真岡市上天田和)

気になるところ

話題の人に聞く

□438□

設問

【1】「自ら直接世話をして大切に育てる」という意味になるように、写真説明の空欄1に当てはまる二字熟語を書きましょう。

【2】記事に登場する次の①～③のブランド(品種)について、適切な説明をア～ウから一つずつ選び、記号で答えましょう。

- ①スカイベリー
- ②とちあいか
- ③あまりん

ア：宮田さんは次回、このブランドを出品してみたいと思っている。

イ：宮田さんは今回、このブランドで最高金賞を受賞した。

ウ：過去3回の品評会では、埼玉県のこのブランドが

最高金賞を受賞している。

【3】記事の中に登場する次の漢字の読み方を書きましょう。

- ①品評②栽培③軌道④熟れた⑤喫緊⑥維持

【4】記事の空欄2・空欄3には、それぞれ「シュウノウ」「シュウリョウ」と読む二字熟語が入ります。文脈に合う正しい漢字を、それぞれ選びましょう。

空欄2 ア…収納、イ…終納、ウ…就農、エ…習農、オ…週脳

空欄3 ア…終了、イ…修了、ウ…秋涼、エ…終漁、オ…収量

【5】宮田さんは「おいしいイチゴ」の条件についてどのように考えていますか。記事の内容を踏まえ、「酸味」と「甘み」の二つの言葉を用いて簡潔に説明しましょう。